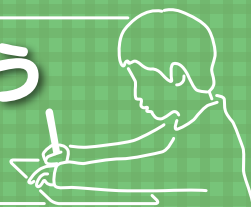


冬

絵日記でいざなう 世田谷のみどり



冬は暖(あたた)かさを求めて、山から野鳥(やちょう)が下りてくるよ。
耳をすませてごらん。きっと小鳥たちの話し声が聞こえてくるよ。

ジョウビタキ

冬になるとよく見かける小鳥 全長13cm~15cm
羽に白い模様(もよう)があることから
「紋(もん)付き鳥」と呼ばれることも

鳴き声 冬は縄張(なわば)り宣言のために
「ヒッ、ヒッ、ヒッ」と細い声でないたり
「クワッ、クワッ」と鳴く

食べ物 昆虫やミミズ、ナンテン、ウメモドキ、
センリョウ、トウネズミモチ
などの実を食べる



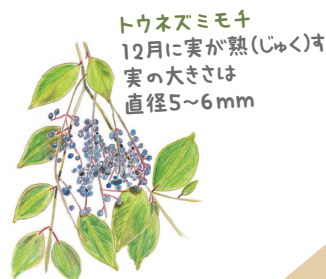
オス
メスに比べると
ちょっとカラフル



メス
オスに比べると
色は地味(じみ)



センリョウ
11月~1月に赤い実をつける
実の大きさは5~7mm



トウネズミモチ
12月に実が熟(じゅく)す
実の大きさは
直径5~6mm

おとずれた場所と出会った生きもの

緑道や 道ばた

植物… アジサイ、ガズミ、桜、サンゴジュ、タンポポ、ツワブキ、トウネズミモチ、ハナツクバネウツギ(アペリア)、
ハルジオン、ピワ、ベニバナミツマタ

動物… スズメ、ツマグロキンバエ、ヒヨドリ、メジロ

公園や 緑地

植物… アキニレ、クヌギ、ケヤキ、トウカエデ、ムクノキ

動物… アオゲラ、ウスキホシテントウ、オオタカ、カニグモ類、コゲラ、シロハラ、ナミテントウ、ハシブトガラス、
ハシボソガラス、ヒゲジロハサミムシ、ヒシモンナガタマムシ、ヒメコバネナガカメムシ、ヒヨドリ、
ヒレルクチブトゾウムシ、ヘリグロテントウノミハムシ、ムツボシテントウ、ムネアカオオクロテントウ、メジロ、
ヨツボシオオキスイ、ラクダムシ幼虫、ルリビタキ、ワラジムシ

河川や 水辺

植物… エノキ、ホトケノザ

動物… イラガのまゆ、エンマコオロギ、オオカマキリの卵、オナジマイマイ、カマキリの卵、ホウジャク、モズ、
モンクチビルテントウ、ワラジムシ



学校の校庭や近くの公園。毎日見ているのに、「春、夏、秋、冬」と様子が変わっていきます。
どのように変わっていくのでしょうか。不思議な季節の変化に目を向け、その豊かさを感じてほしい。
そんな思いでこの資料を作りました。いつもの暮らしの中で、ふつ…と感じる自然。
それはあなただけの「発見」かもしれません。ぜひ探してみてください。

冬

緑道、道ばたなど

講師：今田裕実子

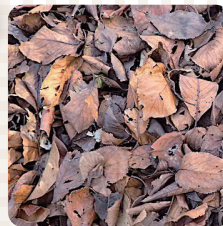


緑道の桜の木



サクラの冬芽

緑道のサクラの木は、すっかり葉を落としていました。まるで枯れているように見えますが、冬芽(ふゆめ)をつけていて、春が来るのを待っています。



落ち葉



赤、オレンジ、茶色…

ほかの木を、観察(かんさつ)してみました。

ビワの花が咲き、ヒヨドリやメジロが蜜(みつ)を吸いに来ていました。紫(むらさき)色に熟(じゅく)したトウネズミモチの実に、ヒヨドリが集まっていた。ベニバナミツマタの花が少し咲きはじめていました。アジサイやサンゴジュ、ガマズミも冬芽をつけて春の準備(じゅんぴ)をしています。葉を落としたところをルーペで見ると、枝と葉で水や栄養(えいよう)のやりとりをしていた管(かん)のあとが、顔のように見えてきます。



冬に咲くビワの花は鳥や虫たちにとって大事な蜜源(みつげん)



トウネズミモチの実



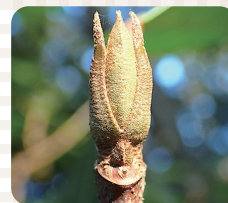
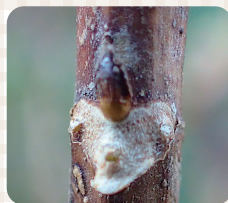
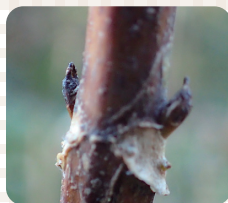
ハナツクバネウツギ(アベリア)の実



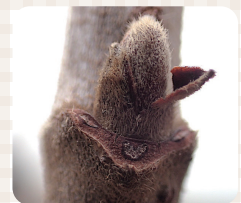
ベニバナミツマタ



アジサイの冬芽にはカバーがないので葉のしわが良く見えます。



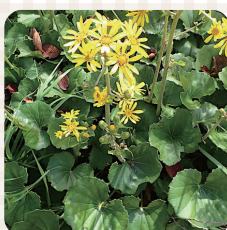
サンゴジュ



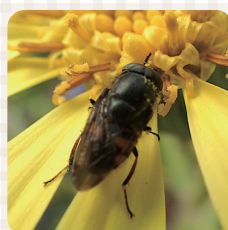
ガマズミ

草や、地面(じめん)のちかくでは、

ツワブキの黄色い花に、ツマグロキンバエが来ていました。タンポポやハルジオンが、地面にべたりと広げたロゼットと言われる葉の姿になっていました。乾(かわ)いた地面でスズメ達が砂浴(すなあび)をしていました。



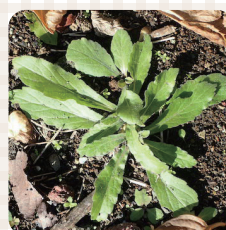
ツワブキの花



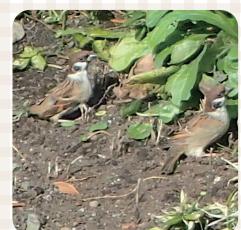
ツマグロキンバエ



タンポポのロゼット



ハルジオンのロゼット



砂浴びをしていたスズメ達

冬

公園・緑地

講師：山崎裕志

冬の公園や緑地は野鳥が主役ですが、小さな生きものたちもたくさん見つかるよ！



クヌギの木

葉を落としたクヌギ。冬芽はかたく閉じています。
樹(き)の下には落ち葉が溜まっています。



落ち葉の下をのぞいてみよう！
ワラジムシやハサミムシなどが見つかるよ！
ふると白い受け皿があると探しやすいよ！



ワラジムシ

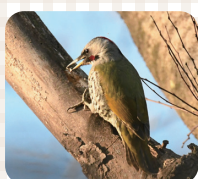
ヒゲジロハサミムシ

冬の公園・緑地は野鳥の天国

双眼鏡(そうがんきょう)をもって出かけてみよう！ 幸せの青い鳥と出会えるかも！
運が良ければ猛禽類(もうきんるい)にも出会えるよ！



ルリビタキ



アオゲラ



コゲラ



オオタカ



ヒヨドリ



シロハラ



メジロ

カラスの仲間を見分けられるかな？

くちばしとおでこに注目だよ！



ハシブトガラス



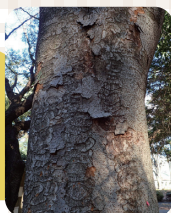
ハシボソガラス

樹皮(じゅひ)の裏には色々な生きものがかくれているよ！

生きものを見つけやすい樹

幹(みき)の一部がめくれている樹を探してみよう！ 雨が入らないように下側がめくれているものがねらい目だよ！

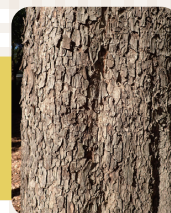
樹皮の裏から見つかる生きものたち



ケヤキ



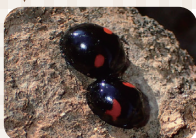
トウカエデ



アキニレ



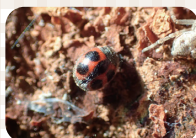
ムクノキ



ナミテントウ



ウスキホシテントウ



モンクチビルテントウ



ムネアカオオクロテントウ



ムツボシテントウ



ヘリグロテントウノミハムシ



ヨツボシオオキシイ



ヒレルクチプトソウムシ



ヒシモンナガタマムシ



ヒメコバネナガカメムシ



ラクダムシ幼虫



カニグモ類

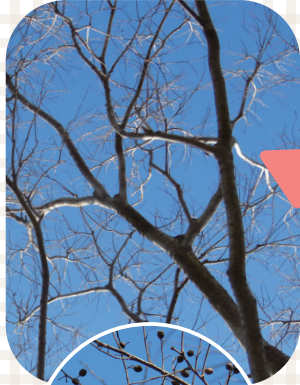
冬

河川や水辺

講師：伊藤晴康

～ある日「わたしの木」のまわりで出会った生きものたちを紹介(しょうかい)します～

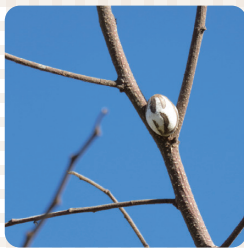
青い冬の空に枝が広がっています。やわらかな陽射しと冷たい風を感じます。



黒くなった
木の実もあります。

枝には

実の他にイラガやカマキリの
卵を見つけることができました。



イラガのまゆ



カマキリの卵

小さな春

「小さな春」を
みつけると
ちょっとうれしい。



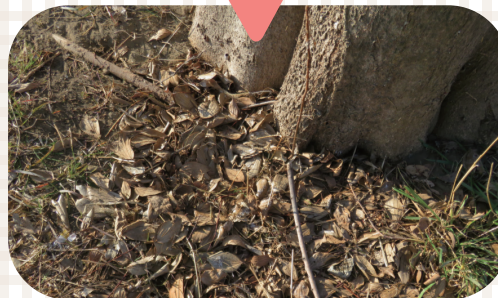
ホトケノザ



見あげると

『わたしの木』すっかり落葉し、
冬空に合っています。
遠くに富士山も見えます。
原っぱは、草刈りされて広々です。

木の根元を見てみると



木の根元には、少しだけ落ち葉が
たまっていました。
落ち葉をかき分けると、ワラジムシが
たくさんいました。



オナジマイマイ



ワラジムシの集団



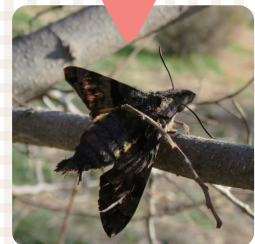
モンクチビルテントウ
ここにもいました。



モズが来ました

もう、秋のように鳴きません。
巣づくりが近づいているのかも
しれません。見ていると、急に地面
に下り、また木に戻ってきます。
エサをさがしているのでしょうか。
と言うことは？

周りの木を見てみると



ガ(ホウジャク)の「はやにえ」



エンマコオロギの「はやにえ」

まわりの小さな木の枝に、
虫が刺さっています。
モズのしわざ「はやにえ」がありました。
なんで、こんなこと？不思議ですね。



小さな木の中には、
オオカマキリの卵もあります。